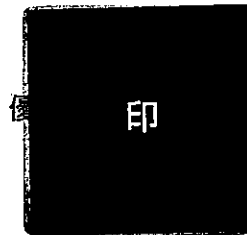


近畿厚生局長 殿

福井大学長  
福田



福井大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	111人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

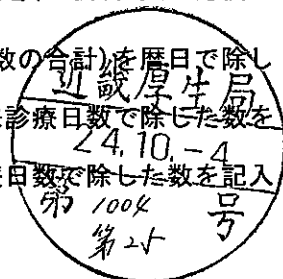
職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	337人	0人	337.0人	看護補助者	58人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	11人	0人	11.0人	理学療法士	10人	臨床検査技師	34人
薬剤師	34人	0人	34.0人	作業療法士	4人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	10人	1人	10.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	524人	44人	550.8人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	215人
管理栄養士	7人	2人	8.5人	診療放射線技師	29人	その他の職員	46人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	479.6人	5.6人	485.2人
1日当たり平均外来患者数	1,113.4人	33.8人	1,147.3人
1日当たり平均調剤数	入院: 729.1 剤	外来: 73.4 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。







## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	橋本脳症の診断マーカー解析	取扱患者数	322人
当該医療技術の概要 橋本脳症は、慢性甲状腺炎に伴う自己免疫性脳症である。血清中の抗NAE抗体を診断マーカーとして開発し、全国より多数の解析依頼がある。			
医療技術名	進行肝細胞癌に対するインターフェロン併用シスプラチン・5-FU肝動注化学療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 肝細胞癌に対する治療法として、比較的早期の症例に対して手術療法、内科的局所療法が施行され、一定の治療成績が得られている。しかし、進行した症例には抗腫瘍剤を用いた化学療法が施行されるが、十分有効な治療法がないのが現状である。本医療技術は進行肝細胞癌に対する通常のシスプラチン・5-FU 肝動注化学療法にインターフェロンを併用するものである。インターフェロンは抗腫瘍剤の作用を増強すると考えられ、本医療技術の特徴は、進行肝細胞癌であっても完全寛解が得られることがあること、また、部分寛解後に外科的治療等が可能な場合、長期生存が期待できることにある。			
医療技術名	癌性腹水に対する新規KM法腹水濾過濃縮再静注法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 癌性腹膜炎による腹水(難治性)に対する対策であり、QOLの改善を目的としている。			
医療技術名	FES-PET検査による乳がん患者における内分泌治療効果予測に関する研究	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 エストロゲンを付加したPET検査によって内分泌治療の効果判定を検討する。			
医療技術名	腹腔鏡下尿管摘出術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 尿管のう胞あるいは膿瘍、腫瘍に対し、腹腔鏡下で摘出する。高度な技術を必要とするが、腹壁の創を最小限に抑えることが出来る。			
医療技術名	PETを用いた圧迫性頸髄症に対する脊髄グルコース代謝量の定量的評価と臨床応用	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 PET imagingの臨床応用として、頸髄部の変化を確認し、圧迫病変の評価を行う。			
医療技術名	股関節疾患におけるナビゲーション支援手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 高位脱臼や臼蓋形成不全などによる高度変形をきたす股関節疾患の治療において、ナビゲーションシステムによる支援によって、より安全かつ正確な手術を行うことが出来る。			
医療技術名	高度変形を伴う膝関節手術におけるナビゲーション支援手術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 高度変形を伴う変形性膝関節症などの疾患の手術加療において、ナビゲーションシステムによる支援によって、より安全かつ正確な手術が可能となる。			
医療技術名	骨盤骨折の治療におけるナビゲーション支援手術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 重度外傷である骨盤骨折の観血的治療において、ナビゲーションシステムによる支援を行うことで、より安全かつ正確な手術を行うことが出来る。			
医療技術名	自家嗅粘膜移植による顔面神経麻痺治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 顔面神経麻痺をきたした患者において、保存的なステロイド治療に抵抗性を示し、顔面神経開放術による外科的治療を行った際、自家嗅粘膜を移植し、治癒を促進させる治療。			

医療技術名	頭頸部癌におけるCu-ATSMの有用性	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
頭頸部癌治療の予後予測においてCu-ATSMの有用性を検討した。			
医療技術名	Wiskott Aldrich症候群のWASP発現解析	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
Wiskott Aldrich症候群患者に対し、骨髄移植を行う際に移植細胞の生産モニタリングのため血球細胞ごとのWASP発現をフローサイトメトリーで解析モニタリングする。			
医療技術名	FES-PETを用いた子宮筋腫・肉腫の鑑別	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
MRIなどを用いても術前鑑別が困難とされてきた子宮筋腫と肉腫の鑑別をFDG-PETとFES-PETを組み合わせることで高い精度で鑑別することが可能になった。			
医療技術名	ラミンペプチドを用いた卵巣癌腹膜播種の治療	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要			
プラチナ抵抗性の卵巣癌腹膜播種に対する新たなペプチド療法の開発。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	18人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	24人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	23人	・原発性胆汁性肝硬変	5人
・全身性エリテマトーデス	42人	・重症急性膵炎	2人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	31人
・再生不良性貧血	17人	・混合性結合組織病	16人
・サルコイドーシス	34人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	10人	・特発性間質性肺炎	12人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	36人	・網膜色素変性症	18人
・特発性血小板減少性紫斑病	22人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	6人	・肺動脈性肺高血圧症	2人
・潰瘍性大腸炎	37人	・神経線維腫症	7人
・大動脈炎症候群	8人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	6人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	10人	・慢性血栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	17人	・ライソゾーム病	5人
・クローン病	22人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	2人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	84人	・球脊髄性筋萎縮症	3人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	6人
・後縦靭帯骨化症	65人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	18人	・ミトコンドリア病	8人
・ウェゲナー肉芽腫症	1人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	13人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	11人	・黄色靭帯骨化症	5人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	23人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・膀胱水圧拡張術	・
・抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)	・
・超音波骨折治療法	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・先天性難聴の遺伝子診断(他の医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託するもの)	・
○	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

○)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断部門:年48回程度(週1回) 臨床検査部門:年40回程度
部 検 の 状 況	部検症例数      36 例      /      部検率      13.90%

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新興リケッチア感染症・日本紅斑熱の重症化機序解明と救命治療法の確立	岩崎 博道	内科学(1)	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Bc1-2を高発現する濾胞性リンパ腫におけるオートファジーの分子機構	吉田 明	血液腫瘍内科	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
白血病細胞の機能薬理に基づく抗腫瘍薬耐性の克服とテーラーメイド化学療法の確立	山内 高弘	血液腫瘍内科	1,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝微小環境において炎症性発がんを制御するantagomirの標的創薬と前臨床試験	中本 安成	内科学(2)	4,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
樹状細胞と新規ケモカイン製剤の併用により肝がんの二次発がんを制御する手法の開発	中本 安成	内科学(2)	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性甲状腺炎に伴う自己免疫性橋本脳症の臨床免疫学的検討	米田 誠	内科学(2)	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
酸化ストレスイメージングによるパーキンソン病の病態解明と治療法開発	井川 正道	神経内科	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
神経疾患における電子メールを用いた在宅診療ネットワークの導入と評価に関する研究	中地 亮	神経内科	100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
網羅的発現遺伝子解析により抽出された高血圧関連遺伝子AT4/IRAPの役割	此下 忠志	内科学(3)	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
糖尿病性心筋症の発生機序における脂肪分化関連蛋白(ADRP)の機能解析	鈴木 仁弥	内科学(3)	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト分泌型VLDL受容体濃度測定 of 臨床的意義とその生理機能の解明	高橋 貞夫	内分泌・代謝内科	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
非小細胞肺癌における18F-FLTおよび18F-FDG PET画像の有用性の検討	梅田 幸寛	呼吸器内科	100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
FSP1陽性ポドサイトによる糸球体保護作用に関する検討	岩野 正之	腎臓病態内科学	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脂質転送蛋白と脂質応答性転写因子の腎線維化抑制作用の解析と新規治療薬の探索	木村 秀樹	腎臓病態内科学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
末梢血線維細胞による気道リモデリング機序の解析と臨床応用	大嶋 勇成	小児科学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
食物アレルギーにおけるオートファジーの役割	安富 素子	小児科学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性肺疾患の予測・治療効果判定に有用な新たなバイオマーカーの開発	徳力 周子	小児科学	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
自閉症児のきょうだいに対する有効な支援方法の開発に関する研究	川谷 正男	小児科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計  
18



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
統合失調症の認知障害に関する脳イメージング研究	和田 有司	精神医学	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
非ステロイド性抗炎症薬の神経保護と神経毒性に関する脳代謝画像研究	村田 哲人	精神医学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
統合失調症の脳内ネットワーク障害に関する多面的研究：形態・生理・機能的アプローチ	高橋 哲也	精神医学	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
薬剤性高プロラクチン血症の新規治療法に関する臨床研究	石 飛 信	精神医学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
広汎性発達障害者の脳形態・脳機能異常と生物学的マーカー異常の関連	小坂 浩隆	神経科精神科	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
FES-PETによる乳癌における内分泌療法の適応決定に関する研究	前田 浩幸	外科学(1)	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
がん播種性転移に対する蛍光診断と光力学的治療に関する研究	片山 寛次	外科学(1)	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
大腸癌におけるケモカイン・ケモカインレセプターの発現とメカニズムの検討	山口 明夫	医学部附属病院	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
EG-VEGF splicing variantのクローニングと機能解析	五井 孝憲	消化器外科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄損傷における神経再生因子の同定と網羅的遺伝子解析	馬場 久敏	整形外科	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄損傷に対する神経幹細胞およびTrkC遺伝子を用いた再生医学的研究	馬場 久敏	整形外科	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
RNA干渉、マイクロビーズアレイを用いた脊柱靭帯骨化症に対する網羅的遺伝子解析	内田 研造	整形外科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄損傷に対する骨髄間質細胞移植の有効性・機序および併用療法に関する基礎的研究	中嶋 秀明	整形外科	2,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝子導入による新しい骨化抑制療法の開発に向けた脊柱靭帯細胞の生物学的解析	彌山 峰史	整形外科	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
体性幹細胞を用いた変性軟骨の再生	宮崎 剛	整形外科	2,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞膜透過性ペプチドを用いたがん性疼痛治療薬の開発	廣瀬 宗孝	麻酔・蘇生学	3,900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
揮発性麻酔薬のターゲットとしてのカリウムチャンネルとその分子機構	松木 悠佳	麻酔・蘇生学	2,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
前置胎盤、癒着胎盤に対する標準帝切術の確立：子宮底部横切開法の有用性の検討	小辻 文和	産科婦人科学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
エストロゲンレセプター発現PETを用いた子宮肉腫の新たな診断・治療法の開発	吉田 好雄	産科婦人科学	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 累計  
19 37

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
超低出生体重児の消化管成熟に向けた治療戦略：肺サーファクタントを用いた動物実験	西島 浩二	産科婦人科学	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
エストロゲンレセプター発現PETを用いた婦人科腫瘍のホルモン療法予後予測	澤村 陽子	産科婦人科学	600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
GDF-9の卵胞内標的遺伝子解析に基づく卵子機能マーカーの確立	折坂 誠	産科婦人科	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
PET検査による抗癌剤感受性試験法の開発：腫瘍細胞内P糖蛋白発現の画像化の試み	黒川 哲司	産科婦人科	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
メタボリックドミノの予防はED/LUTSの改善につながるか	横山 修	泌尿器科学	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
メタボリック症候群：脳酸化ストレス制御はLUTS治療のブレイクスルーになり得るか	横山 修	泌尿器科学	8,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
夜間頻尿はメタボリック症候群の発症予測あるいは進行のマーカーとなりうるか？	青木 芳隆	泌尿器科学	1,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
GABA作動薬は夜間頻尿を改善させるか？-睡眠深度と膀胱機能に関する基礎研究	松田 陽介	泌尿器科学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
下部尿路閉塞により増強される膀胱粘膜自律収縮促進作用に関する研究	秋野 裕信	泌尿器科学	2,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
OABの発生：尿道上皮由来のATP/PG/NGFはkey mediatorか	棚瀬 和弥	泌尿器科	600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
前立腺癌のエストロゲン受容体の発現とそのリガンドを用いた新規PET画像診断法	石田 泰一	泌尿器科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
糖尿病性潰瘍におけるAGEs・RAGEの関与の検討	安田 聖人	皮膚科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
酢酸を用いた可逆的神経機能障害の核医学解析と局所麻酔下脳血管バイパス術の開発	菊田 健一郎	脳脊髄神経外科学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
グリオーマの浸潤機構の解明とその阻害方法	北井 隆平	脳脊髄神経外科	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ヘパラン硫酸による神経堤細胞の分化制御機構の解明と緑内障の新しい病態概念の確立	稲谷 大	眼科学	18,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
網羅的解析を組み合わせたスギ花粉症に対する遺伝子多型からの発症予防と治療戦略	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	8,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
エクソソームによるスギ花粉症治療の可能性	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
頭頸部癌増殖・浸潤におけるG691S RET polymorphismの機能解析	成田 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
キメラ分子による好塩基球活性化の制御とスギ花粉症の新規治療	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 累計  
19 56

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アレルギー性鼻炎の診断治療における鼻腔一酸化窒素濃度の有用性の検討	山本 英之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,800,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
酸化ストレス代謝酵素CYP1A1のSNPがアレルギー性鼻炎発症に及ぼす影響	坂下 雅文	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,600,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
CpG-DNAによるアレルギー性鼻炎抑制の基礎的研究	窪 誠太	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,600,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
頭頸部癌におけるマイクロRNAの動き	鈴木 弟	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,200,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
BMP-2と骨髄未分化幹細胞移植法を用いた広範囲顎顔面骨欠損修復への試み	植野 高章	歯科口腔外科学	500,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
放射線・化学療法で誘発される口内炎のエピジェネティック変化に対する治療法の検討	飛田 尚慶	歯科口腔外科	600,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
カテキン類による増殖因子受容体分解と腫瘍増殖抑制の分子機構の解明	吉村 仁志	歯科口腔外科学	1,090,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
3T高磁場MRIによるASL手法を基礎とする非侵襲的機能画像の開発と臨床応用	木村 浩彦	放射線医学	1,800,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
生理的食塩水等の既存臨床薬剤を用いたMRリンパ管イメージング法の開発	小坂 信之	放射線医学	600,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
糖尿病モデルマウスにおける低酸素環境とポドサイト障害	高橋 直生	検査部	800,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
血小板機能を用いた門脈塞栓術後肝再生促進に関する研究	村岡 紀昭	放射線部	600,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
アレンドロネートが関節軟骨及び椎間板細胞の代謝活性に及ぼす影響	小林 茂	リハビリテーション部	800,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
性差に基づいた胃発癌抑制の試み	大谷 昌弘	光学医療診療部	2,500,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
ヘリコバクター・ピロリ菌cagYの多型と発癌因子CagAとの関連	山川 雅希代	光学医療診療部	600,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
冬眠の低体温療法への応用をめざして	信川 泰成	集中治療部	1,500,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
fMRIを用いた愛着障害の神経基盤の評価システム	友田 明美	子どものこころの発達支援センター	1,700,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
新規プリンヌクレオシドアナログ、クロファラビンによる治療抵抗性白血病の克服	山内 高弘	血液腫瘍内科	500,000	補委 (財)痛風財団
筋萎縮性側索硬化症患者生体の酸化ストレスのPET生体機能イメージングによる病態解明	井川 正道	神経内科	500,000	補委 公益信託今井きみ記念神経筋難病研究基金
創造的活動による老年期精神障害の発症予防メカニズムに関する研究	高橋 哲也	精神医学	900,000	補委 公益財団法人ひと・健康・未来研究財団

小計 累計  
19 75

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自閉症スペクトラム障害者への経鼻オキシトシン継続投与による治療効果の探求	小坂 浩隆	精神医学	2,000,000	補 公益財団法人臨床薬理研究振興財団
KB鼻オキシトシン継続投与による自閉症スペクトラム障害者の治療効果と安全性の探求	小坂 浩隆	精神医学	1,000,000	補 (財)先進医療研究振興財団
Cu-ATSM PETを用いた脳血行再建術の効果判定	菊田 健一郎	脳脊髄神経外科学	500,000	補 公益財団法人日本脳神経財団
避難所における震災後関連疾患と震災関連死の疫学的調査	川野 貴久	救急部	1,000,000	補 公益財団法人大和証券ヘルス財団
実地臨床におけるエベロリムス溶出性ステント(XIENCE VIM)とシロリムス溶出性ステント(CYPHER SELECTIM+ステント)の有効性及び安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験【Randomized Evaluation of Sirolimus-eluting versus Everolimus-eluting stent Trial:RESET】	李 鐘大	循環器内科	2,860,000	補 (財)生産開発科学研究所 委
実地臨床におけるバイオリムス溶出性ステント(BES)とエベロリムス溶出性ステント(EES)の有効性及び安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験【NOBORI Biolimus-Eluting versus XIENCE/PROMUS Everolimus-eluting Stent Trial:NEXT】	李 鐘大	循環器内科	110,000	補 (財)生産開発科学研究所 委
大腸癌肝転移(H2,H3)に対するmFOLX6+BV(bevacizumab)療法後の肝切除の有効性及び安全性の検討	山口 明夫	消化器外科	210,000	補 (財)先端医療振興財団 委
初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法 - CPT-11単独療法 VS TS-1+CPT-11併用化学療法の無作為化比較第II/III相臨床試験 -	廣野 靖夫	消化器外科	464,100	補 特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構 委
クラゲコラーゲンを用いた、日本初のコラーゲン製人工硬膜の開発	小寺 俊昭	脳脊髄神経外科学	1,700,000	補 (独)科学技術振興機構 委

小計 累計

9 84

計 84

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol	94	4	378-389	2011.09	Synergistic effects of combination with fludarabine and carboplatin depend on fludarabine-mediated inhibition of enhanced nucleotide excision repair in leukemia	高木 和貴	内科学(1)
Int J Cardiol	159	2	144-149	2012.03	Relationship between microcirculatory dysfunction and resolution of ST-segment elevation in the early phase after primary angioplasty in patients with ST-segment elevation myocardial infarction	中野 顯	内科学(1)
J Diabetes Invest	2	2	148-153	2011.04	Acarbose treatments improve arterial stiffness in patients with type 2 diabetes mellitus	宇隨 弘泰	内科学(1)
J Investig Med	59	7	1104-1108	2011.07	17β-Estradiol Inhibits Oxidized Low-Density Lipoprotein-Induced Increase in Matrix Metalloproteinase-9 Expression in Human Macrophages	宇隨 弘泰	内科学(1)
J Atheroscler Thromb	19	2	149-158	2011.11	Number of Endothelial Progenitor Cells in Peripheral Artery Disease as a Marker of Severity and Association with Pentraxin-3, Malondialdehyde-Modified Low-Density Lipoprotein and Membrane Type-1 Matrix Metalloproteinase	中野 顯	内科学(1)
Anticancer Research	32	2	643-347	2012.02	A Randomized Comparison of Modified Intermediate-dose Ara-C versus High-dose Ara-C in Post-remission Therapy for Acute Myeloid Leukemia	上田 孝典	内科学(1)
Int J Hematol	94	2	169-177	2011.07	Clinical utility of the neutrophil distribution pattern obtained using the CELL-DYN SAPHIRE hematology analyzer for the diagnosis of myelodysplastic syndrome	上田 孝典	内科学(1)
Leuk Res	35	10	1384-1389	2011.10	A Phase I study to assess the safety, pharmacokinetics and efficacy of barasertib (AZD1152), an Aurora B kinase inhibitor, in Japanese patients with advanced acute myeloid leukemia	山内 高弘	内科学(1)
Anticancer Res	31	9	2863-2867	2011.09	Determination of clofarabine triphosphate concentrations in leukemic cells using sensitive, isocratic high-performance liquid chromatography	山内 高弘	内科学(1)
Int J Cardiol	155	3	442-447	2012.03	Beneficial effects of statin treatment on coronary microvascular dysfunction and left ventricular remodeling in patients with acute myocardial infarction	中野 顯	内科学(1)
J Nucl Cardiol	19	3	507-514	2012.02	Acute hyperglycemia causes microvascular damage, leading to poor functional recovery and remodeling in patients with reperfused ST-segment elevation myocardial infarction	中野 顯	内科学(1)
Circ J	76	6	1369-1379	2012.03	Intensity of Statin Therapy, Achieved LDL-C Levels and Cardiovascular Outcomes in Japanese Patients After Coronary Revascularization	中野 顯	内科学(1)
Intern Med	50	14	1493-1496	2011.06	A case of gitelman syndrome associated with idiopathic intracranial hypertension	濱野 忠則	神経内科
Nucl Med Biol	38	945	951	2011.10	Evaluation of striatal oxidative stress in patients with Parkinson's disease using [(62)Cu]ATSM PET	井川 正道	神経内科
Eur Neurol	67	4	232-237	2012.03	Evaluation of Systemic Redox States in Patients Carrying the MELAS A3243G Mutation in mitochondrial DNA	米田 誠	内科学(2)
Biochim Biophys Acta	1820	5	615-618	2012.03	In vivo functional brain imaging and a therapeutic trial of L-arginine in MELAS patients	米田 誠	内科学(2)

小計

16

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Nucl.Med.Biol	39	2	177-185	2012.02	Radiolabeled Cu-ATSM as a novel indicator of over-reduced intracellular state due to mitochondrial dysfunction: studies with mtDNA-less p <sup>0</sup> cells and cybrids carrying MELAS mtDNA mutation.	米田 誠	内科学(2)
Oncology	81	5-6	281-290	2011.11	Randomized Phase II Study Comparing Interferon Combined with Hepatic Arterial Infusion of Fluorouracil Alone in Patients with Advanced Hepatocellular Carcinoma	中本 安成	内科学(2)
先端医療シリーズ42 消化器疾患の最新医療	1	1	168-171	2012.01	細胞免疫療法	中本 安成	内科学(2)
消化器と免疫	48	1	43	2012.03	新たな免疫治療へのロードマップ	中本 安成	内科学(2)
Gastroenterological Endoscopy	53	6	1600-1608	2011.06	肝硬変に伴う門脈圧亢進症における小腸病変の検討	中本 安成	内科学(2)
肝臓 (別刷)	52	8	532-551	2011.06	肝がんに対する新規抗がん剤使用に関する指針 2010年度版	中本 安成	内科学(2)
医療情報学	31	1	996-999	2012.01	人工呼吸器の中央監視によるアラーム対応と呼吸ケアチーム活動への利用の試み	山崎 幸直	光学医療診療部
医療情報学	31	1	992-993	2012.01	病棟看護師が心電図のアラームを察知できる範囲	山崎 幸直	光学医療診療部
Carcinogenesis	32	8	1244-1250	2011.08	17 $\beta$ -estradiol suppresses Helicobacter pylori-induced gastric pathology in male hypergastrinemic INS-GAS mice	大谷 昌弘	光学医療診療部
Respirology	16	4	713-720	2011.05	Prognostic value of dual-time-point (18)F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography in patients with pulmonary sarcoidosis	梅田 幸寛	呼吸器内科
Archives of Dermatology	147	4	391-398	2011.04	Clinical Correlations With Dermatomyositis-Specific Autoantibodies in Adult Japanese Patients With Dermatomyositis: A Multicenter Cross-sectional Study	梅田 幸寛	呼吸器内科
Respir Med	105	12	1931-1938	2011.09	Small airway disease associated with Sjogren's syndrome: Clinico-pathological correlations	鮎嶋 慎吾	呼吸器内科
Clin Lung Cancer	12	6	387-392	2011.11	Gefitinib as first-line treatment in elderly epidermal growth factor receptor-mutated patients with advanced lung adenocarcinoma: results of a Nagano Lung Cancer Research Group study	鮎嶋 慎吾	呼吸器内科
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	21	2	153-158	2011.10	COPD患者の療養状況による自己管理情報ニーズの違い—Lung Information Needs Questionnaire(LINQ)を用いた実態調査—	門脇 麻衣子	呼吸器内科
Endocr J	58	6	491-499	2011.04	Activation of Src-ATF1 pathway is involved in upregulation of Nox1, a catalytic subunit of NADPH oxidase, by aldosterone	宮森 勇	内科学(3)
Clin Chim Acta	413	3-4	441-447	2011.11	Comparative reactivity of remnant-like lipoprotein particles (RLP) and low-density lipoprotein (LDL) to LDL receptor and VLDL receptor: Effect of a high-dose statin on VLDL receptor expression	今川 美智子	内科学(3)
J Steroid Biochem Mol Biol	129	3-5	145-152	2011.12	Aldosterone inhibits endothelial morphogenesis and angiogenesis through the downregulation of vascular endothelial growth factor receptor-2 expression subsequent to peroxisome proliferator-activated receptor gamma	宮森 勇	内科学(3)

小計 累計

17 33

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Curr Hypertens Rep	13	5	356-361	2011.10	Do genetic variants of the Renin Angiotensin system predict blood pressure response to Renin-Angiotensin system-blocking drugs? : A systematic review for pharmacogenomics in the Renin Angiotensin system	此下 忠志	内科学(3)
Allergol Int	61	1	57-63	2011.09	The Differences in the Involvements of Loci of Promoter Region and Ile50Val in Interleukin-4 Receptor $\alpha$ Chain Gene between Atopic Dermatitis and Japanese Cedar Pollinosis	此下 忠志	内科学(3)
Viszeralmedizin	27	5	397-401	2011.10	Results of Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy in Patients with Unresectable Liver Metastases	五井 孝憲	外科学(1)
Thermal Med	27	4	89-98	2011.12	<sup>18</sup> F-fluorodeoxyglucose Positron Tomography is Useful in Evaluating the Efficacy of Multidisciplinary Treatments for So-called Borderline Unresectable Pancreatic Head Cancers	村上 真	外科学(1)
日腹部救急医学会誌	31	4	599-604	2011.05	腹部緊急手術のリスク評価におけるPOSSUMおよびP-POSSUM scoreの有用性の検討	森川 充洋	消化器外科
日本臨牀	69	5	280-284	2011.06	前立腺癌の診断 画像診断 PET、PET-CT	大山 伸幸	泌尿器科
Nucl Med Mol Imaging	45	3	217-219	2011.05	Assessment of Therapeutic Effect of Sunitinib by <sup>11</sup> C-Acetate PET Compared with FDG PET Imaging in Patient with Metastatic Renal Cell Carcinoma	大山 伸幸	泌尿器科
泌尿紀要	57	11	615-618	2011.11	スニチニブが奏功した進行性Sarcomatoid renal cell carcinoma の1例	土山 克樹	泌尿器科
World J Urol	29	2	233-238	2011.04	alpha(1)-Adrenoceptor blocker naftopidil improves sleep disturbance with reduction in nocturnal urine volume	横山 修	泌尿器科学
Urology	78	1	126-133	2011.05	Solifenacin as Add-on Therapy for Overactive Bladder Symptoms in Men Treated for Lower Urinary Tract Symptoms-ASSIST, Randomized Controlled Study	横山 修	泌尿器科学
J Urol	185	6	2392-2397	2011.06	Antimuscarinics suppress adenosine triphosphate and prostaglandin E2 release from urothelium with potential improvement in detrusor overactivity in rats with cerebral infarction	横山 修	泌尿器科学
Int J Urol	18	5	365-373	2011.05	Propiverine hydrochloride in Japanese patients with overactive bladder: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial	横山 修	泌尿器科学
LUTS	3	1	29-35	2011.04	Randomized controlled trial to treat benign prostatic hyperplasia with overactive bladder using an Alpha-blocker combined with anticholinergics	横山 修	泌尿器科学
J. Urol.	186	1	170-174	2011.07	Efficacy of solifenacin on nocturia in Japanese patients with overactive bladder: impact on sleep evaluated by bladder diary	横山 修	泌尿器科学
日本皮膚科学会雑誌	121	12	2483-2488	2011.11	化学療法抵抗性頭部血管肉腫に実施した新規治療—サリドマイド・セレコキシブ併用内服療法、胸郭X線照射治療、胸腔内化学療法—	桑原 慎治	皮膚科
デルマ	177	4月増刊号	9-14	2011.04	皮膚疾患の免疫組織化学	清原 隆宏	皮膚科学
デルマ	177	4月増刊号	22-33	2011.04	覚えておきたい皮膚病理組織用語	清原 隆宏	皮膚科学
Int Arch Occup Environ Health	85	4	DOI 10.1007/s00420-011-0682-z	2011.08	Work-related allergy in medical doctors: atopy, exposure to domestic animals, eczema induced by common chemicals and membership of the surgical profession as potential risk factors	熊切 正信	皮膚科学

小計 累計

18 51

雑 誌 名	巻 号	頁	発行年月	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
デルマ	181 7	25-30	2011.07	Clark型色素細胞母斑	清原 隆宏	皮膚科学
J Dermatol	39 1	72-75	2012.01	Spindle cell squamous cell carcinoma not expressing stratified but simple epithelial cytokeratin: Efficacy of simple epithelial cytokeratin immunoreactivity	徳力 篤	皮膚科学
Acta Derm Venereol	92 1	96-97	2012.01	Proliferative nodule in small congenital melanocytic naevus after childhood	清原 隆宏	皮膚科学
Eur Spine J	21 3	490-497	2012.03	Apoptosis of neurons and oligodendrocytes in the spinal cord of spinal hyperostotic mouse (twy/twy): possible pathomechanism of human cervical compressive myelopathy	内田 研造	整形外科科学
Eur J Orthop Surg Traumatol	21 4	251-257	2011.05	Fracture of the pelvic ring: a retrospective review of 224 patients treated at a single institution	内田 研造	整形外科科学
Eur Spine J	21 1	149-155	2012.01	Initiation and progression of ossification of the posterior longitudinal ligament of the cervical spine in the hereditary spinal hyperostotic mouse (twy/twy)	内田 研造	整形外科科学
Arthritis Res Ther	13 5	R144	2011.09	Ossification process involving the human thoracic ligamentum flavum: role of transcription factors	内田 研造	整形外科科学
Rheumatol Int	32 9	2823-2828	2011.08	Anteroposterior and varus-valgus laxity of the knee increase after stair climbing in patients with mild osteoarthritis	宮崎 剛	整形外科・ 脊椎外科
Arthritis Res Ther	14 1	R31	2012.02	Direct transplantation of mesenchymal stem cells into the knee joints of Hartley Strain guinea pig with spontaneous osteoarthritis	佐藤 充彦	整形外科・ 脊椎外科
J Neurotrauma	29 8	1614-1625	2012.01	Transplantation of mesenchymal stem cells promotes the alternative pathway of macrophage activation and functional recovery after spinal cord injury	中嶋 秀明	整形外科科学
J Phys Ther Sci	24 1	31-35	2012.02	Histopathological changes in knee joint components after spinal cord injury in rats	北出 一平	リハビリテーション 部
American Journal of Ophthalmology	151 6	1047-1056	2011.06	Success rates of trabeculotomy for steroid-induced glaucoma: a comparative, multicenter, retrospective, cohort study	稲谷 大	眼科学
Investigative Ophthalmology and Visual Science 2011	52 6	3039-3045	2011.05	Dynamic Imaging of axonal transport in living retinal ganglion cells	稲谷 大	眼科学
Investigative Ophthalmology and Visual Science 2011	52 9	6671-6679	2011.08	Heparan sulfate regulates intraretinal axon pathfinding by retinal ganglion cells	稲谷 大	眼科学
Clin Immunol	141 3	365-371	2011.12	B type CpG-DNA suppresses poly(I:C)-induced BLYS expression and production in human tonsillar fibroblasts	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸 部外科
Auris Nasus Larynx	38 2	224-229	2011.04	Epidemiological analysis of nasopharyngeal carcinoma in the central region of Japan during the period from 1996-2005	木村 有一	耳鼻咽喉科・頭頸 部外科
Allergy Asthma Proc	33 2	e9-16	2012.03	Efficacy of mometasone furoate nasal spray for nasal symptoms, quality of life, rhinitis-disturbed sleep, and nasal nitric oxide in patients with perennial allergic rhinitis	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸 部外科
Cytokine	57 2	245-250	2012.02	CpG-DNA suppresses poly(I:C)-induced TSLP production in human laryngeal arytenoid fibroblasts	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸 部外科

小計 累計

18 69



雑 誌 名	巻 号	頁	発行年月	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門	
PLoS One	7	1	e29387	2012.01	ORAI1 genetic polymorphisms associated with the susceptibility of atopic dermatitis in Japanese and Taiwanese populations	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Allergy Asthma Proc	33	2	e17-22	2012.03	Efficacy of prophylactic treatment with montelukast and montelukast plus add-on loratadine for seasonal allergic rhinitis	山本 英之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
頭頸部外科	21	3	275-280	2012.02	当科における副甲状腺腫瘍手術の検討	森川 太洋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
J Agric Food Chem	59	10	5595-5561	2011.04	Inhibitory effect of Açaí ( <i>Euterpe oleracea</i> Mart.) pulp on IgE-mediated mast cell activation	扇 和弘	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Genes Cells	16	9	951-960	2011.09	Enhancement of B-cell receptor signaling by a point mutation of adaptor protein 3BP2 identified in human inherited disease cherubism	扇 和弘	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Cancer Sci	102	12	2164-2171	2011.12	Regulation of microRNA expression by hepatocyte growth factor in human head and neck squamous cell carcinoma	鈴木 弟	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Clin Nucl Med	37	3	252-257	2012.03	Different distribution of <sup>62</sup> Cu ATSM and <sup>18</sup> F-FDG in head-and-neck cancers	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Annals Otol Rhinol Laryngol	120	5	300-306	2011.05	Morphology of human fungiform papillae after severing chorda tympani nerve	齋藤 武久	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Ann Otol Rhinol Laryngol	120	11	713-721	2011.11	Light and electron microscopic observation of regenerated fungiform taste buds in patients with recovered taste function after severing chorda tympani nerve	齋藤 武久	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Otol Neurotol	32	8	1352-1357	2011.10	Length of nerve gap defects correlates with incidence of nerve regeneration but not with recovery of taste function in patients with severed chorda tympani nerve	齋藤 武久	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Journal of Surgical Oncology	104	4	438-446	2011.05	Prognostic Molecular Biomarkers for Cutaneous Malignant Melanoma	成田 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
PLoS One	6	11	e26987	2011.11	Variants of C-C motif chemokine 22 (CCL22) are associated with susceptibility to atopic dermatitis: case-control studies	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
PLoS Genet	7	7	e1002170	2011.07	Genome-wide association study identifies HLA-DP as a susceptibility gene for pediatric asthma in Asian populations	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Allergol Int	60	4	491-496	2011.12	Clinical epidemiological study of 553 patients with chronic rhinosinusitis in Japan	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Allergol Int	60	4	449-457	2011.12	Interleukin-19 downregulates interleukin-4-induced eotaxin production in human nasal fibroblasts	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Auris Nasus Larynx	38	5	600-607	2011.10	A randomized, double-blind, placebo-controlled study of ten-cha ( <i>Rubus suavissimus</i> ) on house dust mite allergic rhinitis	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
頭頸部外科	21	3	297-301	2012.02	当科における頭頸部腺様嚢胞癌症例の検討	二之宮 貴裕	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
J Allergy Clin Immunol	130	1	184-194	2012.03	A critical role of IL-33 in experimental allergic rhinitis	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

小計 累計

18 87

雑誌名	巻号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Auris Nasus Larynx	39 6	553-556	2012.03	Examination, diagnosis and classification for Japanese allergic rhinitis: Japanese guideline	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Auris Nasus Larynx	39 6	641-645	2012.02	A case of sinonasal teratocarcinoma treated with surgery and post-operative intensity-modulated radiotherapy (IMRT)	徳永 貴広	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
日本顎変形症学会	21 3	179-189	2011.08	下顎枝垂直骨切り術後に遠位骨片と下顎頭の安定性に関する検討	飛田 尚慶	歯科口腔外科
日本口腔診断学会雑誌	25 1	43-48	2012.02	潰瘍性大腸炎に罹患した外科的矯正患者にIV-PCAを用いて術後疼痛管理を行った1例	小林 淳一	歯科口腔外科
Odontology	100 1	87-94	2011.05	Increased glucose metabolism by FDG-PET correlates with reduced tumor angiogenesis in oral squamous cell carcinoma	佐野 和生	歯科口腔外科学
Implant Dentistry	20 5	337-340	2011.11	Sinus augmentation surgery after endoscopic sinus surgery for the treatment of chronic maxillary sinusitis	飛田 尚慶	歯科口腔外科
Brain & Development	Jan 4 2012	9 723	2012.01	Focal EEG abnormalities might reflect neuropathological characteristics of pervasive developmental disorder and attention-deficit/hyperactivity disorder	川谷 正男	小児科
Hum Gene Ther	23 2	173-186	2012.02	Syngeneic hematopoietic stem cell transplantation enhances the antitumor immunity of intratumoral type I interferon gene transfer for sarcoma	鈴木 孝二	小児科
J Pediatr.	159 4	676-681	2011.10	Distinct impact of imatinib on growth at prepubertal and pubertal ages of children with chronic myeloid leukemia	谷澤 昭彦	小児科学
Allergy	67 3	371-379	2012.03	Immunotherapy with oligomannose-coated liposomes ameliorates allergic symptoms in a murine food allergy model	河北 亜希子	小児科学
Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	37 6	636-640	2011.06	Atypical metastatic carcinoid of the uterine cervix and review of the literature	吉田 好雄	産科婦人科学
Eur J Nucl Med Mol Imaging	38 10	1824-1831	2011.10	Additional value of $16\alpha$ - $^{18}\text{F}$ fluoro- $17\beta$ -estradiol PET for differential diagnosis between uterine sarcoma and leiomyoma in patients with positive or equivocal findings on $^{18}\text{F}$ fluorodeoxyglucose PET	吉田 好雄	産科婦人科学
Int J Oncol	39 6	1359-1364	2011.11	The potent peptide antagonist to angiogenesis, C16Y, and cisplatin act synergistically in the down-regulation of the Bcl-2/Bax ratio and the induction of apoptosis in human ovarian cancer cells	品川 明子	産科婦人科学
Int J Neuropsychopharmacol	14 5	711-717	2011.06	Lentivirally mediated GSK-3beta silencing in the hippocampal dentate gyrus induces antidepressant-like effects in stressed mice	小俣 直人	神経科精神科
Journal of Clinical Psychopharmacology	31 3	400-401	2011.06	Comment on "Dose-Dependent Effects of Adjunctive Treatment With Aripiprazole on Hyperprolactinemia Induced by Risperidone in Female Patients With Schizophrenia"	石飛 信	精神医学
Research in Autism Spectrum Disorders	5 2	910-919	2011.04	Differential amygdala response to lower face in patients with autistic spectrum disorders: An fMRI study	石飛 信	精神医学
Journal of Clinical Psychopharmacology	31 2	243-245	2011.04	Adjunctive treatment with low-dosage pramipexole for risperidone-associated hyperprolactinemia and sexual dysfunction in a male patient with schizophrenia	石飛 信	精神医学

小計 累計

17 104

雑誌名	巻号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Tumor Pathol	29 1	47-53	2012.01	Lymphomatosis cerebri: clinical characteristics, neuroimaging, and pathological findings	北井 隆平	脳脊髄神経外科
誘電・絶縁材料研究会資料	DE I-11-61	39-43	2011.07	カーボンナノチューブ分散膜を用いた脳波電極	北井 隆平	脳脊髄神経外科
Neurol Med Chir(Tokyo)	51 11	774-776	2011.11	Ruptured intracranial aneurysms associated with moyamoya disease: three case report	新井 良和	脳脊髄神経外科
Eur J Nucl Med Mol Imaging	38 6	1075-1082	2011.06	Feasibility of <sup>62</sup> Cu-ATSM PET for evaluation of brain ischaemia and misery perfusion in patients with cerebrovascular disease	磯崎 誠	脳脊髄神経外科学
Brain Nerve	63 9	1014-1015	2011.09	造影後FLAIR画像が診断に有用であった癌性髄膜炎の1例	有島 英孝	脳脊髄神経外科学
Neurol Med Chir(Tokyo)	51 7	490-495	2011.07	Usefulness of intraoperative computed tomography in surgery for low-grade gliomas: a comparative study between two series without and with intraoperative computed tomography	竹内 浩明	脳脊髄神経外科学
Brain Tumor Pathol	29 1	17-24	2012.01	Atypical and ischemic features of embolized meningiomas	松田 謙	脳脊髄神経外科学
J Clin Neurosci	18 11	1481-1485	2011.11	Neurosurgical venous considerations for tumors of the pineal region resected using the infratentorial supracerebellar approach	小寺 俊昭	脳脊髄神経外科学
Acta Otolaryngol	132 1	33-38	2012.01	Evaluation of effectiveness of stellate ganglion block (SGB) treatment of sudden hearing loss	瀧波 慶和	麻酔・蘇生学
Anesth Analg	114 2	310-312	2012.02	R(+)-, rac-, and S(-)-bupivacaine stereostructure-specifically interact with membrane lipids at cardiotoxicity relevant concentrations	溝上 真樹	麻酔科蘇生科
Hell J Nucl Med	14 3	224-227	2011.09	Differentiation of histological subtypes in lung cancer with <sup>18</sup> F-FDG-PET 3-point imaging and kinetic analysis	土田 龍郎	放射線医学
Clin Nucl Med	36 8	661-664	2011.08	Kikuchi-Fujimoto disease; PET/CT assessment of a rare cause of cervical lymphadenopathy	辻川 哲也	放射線科
Int J Mol Med	28 6	1033-1042	2011.12	Thermosensitization and induction of apoptosis or cell-cycle arrest via the MAPK cascade by parthenolide, an NF- $\kappa$ B inhibitor, in human prostate cancer androgen-independent cell lines	塩浦 宏樹	放射線科
Nucl Med Commun	33 2	130-138	2012.02	Appropriate parameters of ordered-subset expectation maximization algorithm on measurement of myocardial blood flow and oxygen consumption with <sup>11</sup> C-acetate PET	辻川 哲也	放射線科
Acta Radiol	53 2	220-222	2011.12	Crossed cerebellar hyperperfusion after MELAS attack followed up by whole brain continuous arterial spin labeling perfusion imaging	辻川 哲也	放射線科
Journal of the American Society of Nephrology	23 2	209-214	2012.02	Urinary FSP1 Is a Biomarker of Crescentic GN	岩野 正之	腎臓病態内科学
PLoS One	6 9	e24058	2011.09	Pdx1 and Ngn3 overexpression enhances pancreatic differentiation of mouse ES cell-derived endoderm population	岩野 正之	腎臓病態内科学
Nephron Clin Pract	120 1	c1-7	2011.11	Clinical significance of fibroblast-specific protein-1 expression on podocytes in patients with focal segmental glomerulosclerosis	岩野 正之	腎臓病態内科学

小計 累計

18 122

雑 誌 名	巻 号	頁	発行年月	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Kidney Int.	81	6	539-547	2012.03	Decreased renal $\alpha$ -Klotho expression in early diabetic nephropathy in humans and mice and its possible role in urinary calcium excretion	岩野 正之 腎臓病態内科学
Nephrology (Carlton).	16	6	558-566	2011.08	Smaller low-density lipoprotein size as a possible risk factor for the prevalence of coronary artery diseases in haemodialysis patients: associations of cholesteryl ester transfer protein and the hepatic lipase gene polymorphism with low-density lipoprotein size	木村 秀樹 検査部
日本手術医学会誌	33	1	20-24	2012.02	プリオン病ハイリスク手術に使用した器材の取り扱いについて	佐藤 一史 手術部
Metabolism	61	1	127-136	2012.01	Inducible nitric oxide synthase deficiency ameliorates skeletal muscle insulin resistance but does not alter unexpected lower blood glucose levels after burn injury in C57BL/6 mice	安田 善一 集中治療部
Med Mol Morphol	44	2	111-115	2011.06	Immunohistochemical application of S100A1 in renal oncocytoma, oncocytic papillary renal cell carcinoma, and two variants of chromophobe renal cell carcinoma	今村 好章 病理部
医薬品情報学	13	3	29(113)-34(118)	2011.11	後発医薬品の情報整理を目的としたコード体系の構築	政田 幹夫 薬剤部
日本輸血細胞治療学会誌	57	5	393-397	2011.09	電子カルテによる単一施設における患者単位でみた輸血副作用発生状況	浦崎 芳正 輸血部

小計

7

計  
129

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 和田 有 司
管理担当者氏名	総務管理課長 塚 富美雄 経営企画課長 戸田 政孝 医療サービス課長 前島 耕志 医療情報部長 大嶋 勇成 医療安全管理部長 井俣 彰夫 感染制御部長 岩崎 博道 薬剤部長 政田 幹夫 放射線部長 木村 浩彦 ME機器管理部長 菊田 健一郎

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院部医療サービス課(病歴室)、薬剤部、放射線部、医療情報部	外来診療録は、1患者1ファイル、入院診療録は、1患者1入院1ファイルで病歴室において中央管理している。電子診療録として、1患者1ファイルを医療情報部において管理している。
各科診療日誌		各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事労務課	
	高度の医療の実績	病院部経営企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院部総務管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院部総務管理課	
	閲覧実績	病院部総務管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院部医療サービス課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院部医療サービス課及び薬剤部	
一規則に第一号に掲げるの十一の第一項の各号及び第九条の二十三第一項第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 和田 有司
閲覧担当者氏名	総務管理課長 塚 富美雄
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.0 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	6,722人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5,910人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,599人	
	D: 初診の患者の数	18,639人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 医療に係る安全管理の基本的考え方</li><li>(2) 医療に係る安全管理の体制</li><li>(3) 職員研修に関する基本方針</li><li>(4) 医療に係る安全確保の改善方策に関する基本方針</li><li>(5) 医療上の事故発生時の対応に関する基本方針</li><li>(6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む。)</li><li>(7) 相談への対応に関する基本方針</li><li>(8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 医療安全管理の指針に関すること。</li><li>(2) 医療安全管理の対策及び改善に関すること。</li><li>(3) 医療安全管理に係る指導及び助言に関すること。</li><li>(4) その他医療安全管理の重要事項に関すること。</li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 13 回
<p>研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 全職員を対象に、平成23年4月28日に院内講師による「今、福島で何が！～医療従事者として何が必要か～」についての研修を行った。</li><li>(2) 医師及び看護師を対象に、平成23年5月27日に院内講師による「内服・注射のオカレンスを防ぐオーダー時のポイントと指示の受け方」についての研修を行った。</li><li>(3) 医師、看護師、薬剤師を対象に、平成23年8月29日に院内講師による「抗がん剤の暴露防止に関する講習会」についての研修を行った。</li><li>(4) 医療従事者を対象に、平成23年9月9日に院内講師による「医療安全に繋がる電子カルテの活用」についての研修を行った。</li><li>(5) 医療従事者を対象に、平成23年10月24日に院内講師による「静脈栄養と経腸栄養の安全管理、簡易懸濁方の実際」についての研修を行った。</li><li>(6) 全職員を対象に、平成23年11月9日に外部講師による「患者さん対応の“劇的ビフォーアフター”～Quality of Hospitalityの考え方と実践～」についての研修を行った。</li><li>(7) 医療従事者を対象に、平成23年11月30日に院内講師及び外部講師による「加湿手段を使い分けよう！～人口鼻と加温加湿器の良いところ、悪いところ～」についての研修を行った。</li><li>(8) 全職員を対象に、平成23年12月19日に院内講師による「睡眠とせん妄の薬物療法」についての研修を行った。</li><li>(9) 全職員を対象に、平成24年1月11日に院内講師による「地域医療に関わるリスクマネジメント」についての研修を行った。</li><li>(10) 医療従事者及び臨床研究に携わる教員を対象に、平成24年2月2日に外部講師による「大きく変化する医薬品・医療の安全性問題」についての研修を行った。</li><li>(11) 全職員を対象に、平成24年2月23日に院内講師による「病院における苦情対応」についての研修を行った。</li><li>(12) 全職員を対象に、平成24年3月8日に院内講師による「正しく理解して欲しい医療用麻薬の話～麻薬は怖い!? 怖くない!?～」についての研修会を行った。</li><li>(13) 全職員を対象に、平成24年3月27日に院内講師による「病院長退任にあたって～福井大学病院この4年間の動き～」についての研修を行った。</li></ul>	



④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 )	
・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) オカレンスレポートは医療安全管理部に報告され、GRMと部員が日々モニタリングを行い、現場確認を行っている。また、内容により各部署における対策の確認が必要な場合は、医療安全管理部長より文書で提出を依頼し、医療安全管理部で内容を確認し検証を行っている。 (2) 医療事故防止強化月間を定め、重要事項を決めて医療事故防止に取り組んでいる。 (3) 医療安全管理部員が毎月2回実施部署を決め、院内パトロールを実施している。 (4) 医療安全推進月間時に部署間相互チェックを実施している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) ( 1 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) ( 1 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・ 所属職員： 専任( 3 )名 兼任( 17 )名	
・ 活動の主な内容： (1) 医療安全管理委員会への情報提供及び改善等の提案に関すること。 (2) オカレンスの収集、調査、分析及び防止策に関すること。 (3) オカレンスレポートで報告された医療上の事故について、影響レベルの判定に関すること。 (4) 医療上の事故防止に係る提言及び指導に関すること。 (5) 医療安全管理に関する教育、研修及び啓発に関すること。 (6) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確、かつ、十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (7) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (8) 各部門のリスクマネージャーとの連絡調整及びリスクマネージャー会議の運営に関すること。 (9) その他医療の安全管理に関すること。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	(有) ・ 無

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無
・ 指針の主な内容： (1) 院内感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策に関する管理体制 (3) 職員研修に関する基本方針 (4) 感染症発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 指針の閲覧に関する基本方針 (7) その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： (1) 院内感染対策指針に関すること。 (2) 感染予防対策の確立に関すること。 (3) 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。 (4) 感染源の調査に関すること。 (5) 感染予防に係る諸調査及び情報の収集に関すること。 (6) その他感染対策についての重要事項に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
・ 研修の主な内容： (1) 医療従事者を対象に、平成23年5月23日に外部講師による「院内感染と薬剤耐性」についての研修を行った。 (2) 全職員を対象に、平成23年6月20日に院内講師による「エイズについて今いちど考えてみませんか」についての研修を行った。 (3) 全職員を対象に、平成23年8月2日に外部講師による「予防接種に関する最近の話題ー麻疹風疹対策、日本脳炎対策、今後定期接種化が望まれるワクチンを中心にー」についての研修を行った。 (4) 全職員を対象に、平成23年11月1日に院内講師による「接触感染対策!!やっぱり手洗いだね」についての研修を行った。 (5) 医療従事者及び学生を対象に、平成23年12月22日に院内講師による「嚥下～初めの第一歩～」及び「誤嚥性肺炎予防のための嚥下リハ」についての研修を行った。 (6) 全職員を対象に、平成24年1月27日に外部講師による「HIV/AIDS診療における北陸ブロックの課題と展望」についての研修を行った。 (7) 全職員を対象に、平成24年3月27日に院内講師による「病院長退任にあたって～福井大学病院この4年間の動き～」についての研修会を行った。	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 感染症発生状況は感染制御部に報告され、感染管理看護師長と部員が日々モニタリングを行い、現場確認を行っている。また、内容により各部署における対策の確認が必要な場合は、感染制御部長より文書で提出を依頼し、部会で内容を確認し検証を行っている。 (2) 感染制御部員が定期的実施部署を決め、ラウンドを実施している。 (3) 各部署のリンクナースはICNと連携し、各看護単位の感染対策上の問題点を抽出し、改善策を実践している。	

## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新任医師、看護師に対して薬の安全使用に関する研修を行った。</li> <li>2. 「内服・注射のオカレンスを防ぐオーダー時のポイントと指示の受け方」に関する研修を行った。</li> <li>3. 「抗がん剤の曝露防止に関する講習会」を行った。</li> <li>4. 「睡眠とせん妄の薬物療法」に関する研修を行った。</li> <li>5. 「大きく変化する医薬品・医療の安全性問題」に関する研修を行った。</li> <li>6. 「正しく理解してほしい医療用麻薬の話」に関する研修を行った。</li> </ol>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有) ・ 無 )</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全管理部のカンファレンス（週1回）参加。問題点についてカンファレンス後に病棟等をラウンドして確認、指導した。</li> <li>2. 年2回、各部署の定数配置薬期限チェックに合わせ保管状況の確認を行った。</li> <li>3. 薬剤師による常備薬の見直しを実施した。</li> <li>4. 各部署のリスクマネージャーに業務の自己点検を依頼し、問題個所の実地点検を行った。</li> </ol>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 処方せんに臨床検査値を印字、保険調剤薬局から疑義照会事例を収集、事例検討会の開催</li> <li>2. オカレンス報告システムを用いた副作用事例の報告体制の確立</li> <li>3. 入院調剤に係る疑義照会事例について、医療環境制御センターニュースに記事を定期掲載</li> </ol>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 161 回
・ 研修の主な内容：  1) 新規購入の医療機器に関し、納品時に使用説明を含めた研修を行った。 2) 人工呼吸器や保育器等の高度な医療機器に関して、不定期に研修会を実施した。 3) 新規採用職員を対象とした医療機器の研修を行った。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の作成 (○有) ・ 無)  ・ 保守点検の主な内容：  重要医療機器に関し、年間保守計画を立てて定期的実施している。 また、必要に応じて定期間隔で点検を実施している医療機器もある。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有) ・ 無)  ・ その他の改善のための方策の主な内容：  (財)日本医療機能評価機構及び(独)医薬品医療機器総合機構から情報を収集し、必要に応じて医療安全管理部と医療機器安全管理委員会により、活用及び改善対策を取っている。	